

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	先発の「JO・さざんか」と比較すると、男性利用者の比率が高く（9名中6名）、外出する機会が多いことから地域への溶け込みが深い。 地域イベントへの参加が多く、家族からも高い評価を受けている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	行政の承諾を得て、隣地にある「JO・さざんか」と合同で運営推進会議を開いている。 毎回土曜日開催として、出席者を増やそうとしているが、少人数での開催もある。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	法人代表が、市の認知症ケア推進会議メンバーであり、市の福祉施策への貢献度が高い。担当者とは信頼関係が築かれている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	希望や要望を口に出すことができる利用者（男性）が多く、その多くは聞き逃げられていることから、家族の満足も得られている。 外出（スーパー、喫茶店等）の希望に応えていることに対し、家族の評価が高い。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

規定通りの運営推進会議が開かれているが、時として出席者がほんの一握りのこともある。地域の住民に参加を呼び掛けたり、家族にも協力ををお願いするなど、会議の活性化を期待したい。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。